



# グローバル通信7月号



## 外務省地方連携推進室



外務省地方連携推進室  
運営ホームページ

[グローバル外交ネット](#)  
をご覧ください!!



### 在外公館レセプションにおける地方自治体PR (レストラン・カナダ・ショー 在トロント総領事館)



愛媛県が展示した濃厚な味わいの柑橘ジュース



いわて牛ステーキの魅力を紹介

トロントでは、レストランや食材店等を対象としたカナダ最大の食品関連展示会(レストラン・カナダ・ショー)が開かれます。本年は5月9日から11日までの間、日本産食材の海外展開を支援する農林水産省やJETROと連携し、日本政府として15年ぶりに同ショーへ参加しました。本ショーには、岩手県と愛媛県が参加し、それぞれ県産の和牛やお米、養殖魚や柑橘類等のPRを行いました。ショーに先立ち、総領事館公邸において現地の高級スーパーやレストラン関係者を招いて同県産品の試食会を行うなどの準備も功を奏し、大盛況の中、ショーを終えることができました。

[「在外公館レセプションにおける地方自治体PR\(レストラン・カナダ・ショー 在トロント総領事館\)」の詳細](#)

### 人々の交流が二国間関係の礎 (岩手県一戸町とパラグアイ)



一戸町で歓迎を受けるパラグアイ代表团



中谷大使の御所野遺跡訪問

### コロナ後の日豪姉妹都市・学校交流再開に向けて



クインピヤン姉妹都市公園の記念植樹や銘板



クーマ・ライオンズ公園の姉妹都市鳥居前で

2020年に入り、新型コロナウイルスの世界的な拡大により、日豪間においても相互訪問が難しい状況となりました。そのような中、紀谷在シドニー総領事は、日本からの代表団に代わって豪州各地を訪問し、市長をはじめ姉妹都市関係者と面会。コロナ後の交流再開に向けて、モメンタムを維持することが重要であると考え、豪州スノーウィー・マウンテンズ地域にある日本の自治体と姉妹都市を提携する自治体等、様々な場所を訪問しました。訪問先からは、交流再開へ向けた力強い言葉をもらい、同総領事から長年の姉妹都市交流に対する心からの感謝の気持ちを伝えました。

[「コロナ後の日豪姉妹都市・学校交流再開に向けて」の詳細](#)

# 東

京2020大会のパラグアイのホストタウンは移住者出身地のご縁で始まりました。パラグアイで同国最大の会員数を誇る岩手県の県人会が1960年に設立されて以降、両者の間では各種交流が行われてきており、このうち岩手県一戸町はホストタウンとして大会直前に同国選手団の事前合宿を受け入れました。町を挙げての温かいおもてなしは、出場選手のパラグアイ国内新記録達成の原動力になりました。1人でも多くの日系パラグアイの若者が自らのルーツを誇りに思い、日本の中高生が移住の歴史及び南米の日系社会の現状を知ること、これからも二国間の絆が多くの人々に支えられていくことが期待されています。

[「人々の交流が二国間関係の礎\(岩手県一戸町とパラグアイ\)」の詳細](#)

(注)次回配信は8月1日の予定です。  
グローバル通信には是非ご登録下さい。  
登録はメールマガジン「グローバル通信」より「メールアドレスの登録」をクリック!  
ご意見やご質問は、[gaimu-renkei@mofa.go.jp](mailto:gaimu-renkei@mofa.go.jp)までお願いいたします。



「春宵の響」で通訳する様子



小中学校での国際理解教育

# 東

京都大田区では英国ウェールズ出身のベサニー・カミングスさんが国際交流員(CIR)として活躍しています。ベサニーさんは、子どもの頃、よく日本のアニメやドラマを見ていたことがきっかけで、日本に興味を持ち始めました。その後、大学での日本語専攻や日本への留学を経てJETプログラムに応募し、約4年間、大田区で翻訳・通訳、大田区の魅力発信、母国文化紹介など幅広い活動を行ってきました。来日前は、東京は“騒がしくて住みにくい”というイメージを持っていた一方、大田区での活動を通して、居心地の良さ、歴史・文化、食、銭湯などの魅力を感じ、イメージが変わっていったと語るベサニーさん。国際交流員としての任期を今年8月に終える予定ですが、引き続き大田区の国際交流・多文化共生推進を応援していきたいとのこと。

[「外国人の目から見た地方活性化 Vol.19 ベサニー・カミングス氏 国際交流員として感じた大田区」の詳細](#)

## 静岡県における「世界お茶まつり2022」の開催



茶摘み体験、O-CHA旅@沿線、(岳南電車のヘッドマーク付き運行車両)



ワールドO-CHAマーケット(世界お茶まつり2019の様子)

# 茶

の魅力を静岡県から発信する「世界お茶まつり」は2001年にスタートし、開催8回目となりました。今回は「O-CHA(お茶)で元気な笑顔!」をテーマに、5月と10月に分けてイベントを開催します。5月には幅広くお茶を楽しめる企画に加え、県内鉄道会社と連携した「O-CHA旅@沿線」、お茶のカクテル等紹介「~O-CHAでチルする?~おうちでChall Out!!」など様々な取組を行いました。10月には「秋の祭典」と題し、産業・文化・学術の3つを柱にお茶のWEB商談会等を開催予定です。お茶の新たな着眼点に加え、現代の生活様式ならではのお茶の楽しみ方を提案します。イベント最新情報は、公式HP等でご確認ください!



世界お茶まつり2022  
(公式HP)に  
アクセス可能なQRコード



世界お茶まつり2022  
(公式Instagram)に  
アクセス可能なQRコード



世界お茶まつり2022  
(公式Facebook)に  
アクセス可能なQRコード

[「静岡県における「世界お茶まつり2022」の開催」の詳細](#)

## 外交実務研修員研修(独立行政法人 日本貿易振興機構(JETRO))



JETRO岡野主幹による講義



質疑応答の様子

# 外

務省では、地方自治体から職員を受け入れ、本省及び在外公館でそれぞれ勤務する人事交流制度を設けています。本年度第1回目となる今回は、6月7日および9日の2日に分け、外務省に勤務する研修員(外交実務研修員)が独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)を訪問しました。「JETROの最近の取組」をテーマに、日系企業、とりわけ、地方を拠点とする企業の海外展開や海外での取組などについて、実務に携わる担当者からの実体験を交えながらの講義を行っていただきました。貿易促進面から地方と海外をつなぐJETROの役割そして展望を学ぶ機会を得ることができました。

[「外交実務研修員研修\(独立行政法人日本貿易振興機構\(JETRO\)\)」の詳細](#)

